

令和2年度事業報告書

社会福祉法人 至福の会

法人本部

特別養護老人ホーム むさしの園

むさしの園ショートステイ

特別養護老人ホーム むさしの園わかば

ケアハウス むさしの園

むさしの園デイサービスセンター

むさしの園デイサービスセンター富士見

むさしの園在宅介護支援センター

むさしの園ホームヘルプサービス

サービス推進課

生活困窮者に対する相談支援事業

ひまわり保育園

むさしの森保育園

目次

法人本部	P 1～P 4
特別養護老人ホーム むさしの園	P 5～P 14
むさしの園ショートステイ	P 15～P 16
特別養護老人ホーム むさしの園わかば	P 17～P 25
ケアハウス むさしの園	P 26
むさしの園デイサービスセンター	P 27～P 29
むさしの園デイサービスセンター富士見	P 30～P 31
むさしの園在宅介護支援センター	P 32～P 34
むさしの園ホームヘルプサービス	P 35～P 37
サービス推進課	P 38
生活困窮者に対する相談支援事業	P 39
ひまわり保育園	P 40
むさしの森保育園	P 41

本部事業報告書

社会福祉法人 至福の会

1 社会福祉法人至福の会・法人の概要

- (1) 主たる事務所の所在地
埼玉県狭山市南入曽1044番地1
- (2) 代表者名
理事長 大野裕明
- (3) 法人認可年月日
平成9年3月19日
- (4) 法人認可番号
指令高福第1745号
- (5) 法人設立登記年月日
平成9年3月21日

2 法人の行う事業

(1) 第1種社会福祉事業

No	施設種別	利用定員
1	特別養護老人ホーム（従来型）	90名
2	特別養護老人ホーム（ユニット型）	100名
3	ケアハウス	20名

(2) 第2種社会福祉事業

No	施設種別	利用定員
1	ショートステイ	10名
2	デイサービスセンター（入曽）	60名
3	デイサービスセンター富士見	40名
4	ホームヘルプサービス	
5	生計困難者に対する相談支援事業	
6	認可型保育園 むさしの森保育園	90名
7	一時預保育園 むさしの森保育園	

(3) 公益を目的とする事業

No	施設種別	利用定員
1	居宅介護支援事業	
2	企業主導型保育園 ひまわり保育園	19名

(4) 職員数260名

3 理事会の開催状況

開催年月日	出席者数		審議・決議事項
	理事	監事	
令和2年 6月 5日	6	2	1 就業規則の一部改訂（案）について 2 定款の一部改訂（案）について 3 令和1年度事業報告（案）について 4 むさしの森保育園の前期末支払資金残高の取崩（案）について 5 令和1年度決算報告（案）について 6 監事監査報告について 7 研修センター2の改修工事（案）について 8 令和2年度第2次補正予算（案）について 9 定時評議会の開催日時と議題について
令和2年 10月 29日	6	2	1 ケアラー事業について 2 研修センター2の改修工事について 3 第3次補正予算（案）について 4 公益通報保護規程について 5 むさしの森保育園の実習生受入について 6 経理規定の変更について
令和2年 3月25日	6	2	1 令和2年度補正予算（案）について 2 令和3年度事業計画について 3 令和3年度当初予算（案）について 4 役員及び評議員等の次期候補者について 5 育児・介護休業等に関する規程の一部改訂について 6 就業規則、給与規程、非常勤の就業規則の全面改定について 7 施設長等の人事について 8 埼玉県書面監査の報告について

4 評議員会の開催状況

開催年月日	出席者数		審議・決議事項
	評議員	監事	
令和 2年 6月 23日	7	2	1 平成31年、令和1年度決算報告について 2 監事監査報告について 3 定款の一部改訂について

5 評議員選任・解任委員会の開催状況

開催年月日	出席者数	審議・議事事項
開催なし		

6 監事監査の状況

監査年月日	監査内容及び結果
令和 2年 6月 5日	<p>内 容</p> <p>社会福祉法人至福の会の平成31年4月1日から令和 2年3月31日までの事業年度に関して、理事の業務執行の 状況及び社会福祉法人至福の会の財産の状況について「監 事監査重点項目」に従って監査を実施した。</p> <p>結 果</p> <p>平成31年令和1年度の社会福祉法人至福の会の事業報 告、財産 目録、貸借対照表、資金収支計算書、事業活動 収支計算書 及び決算付属明細表は、関連する法令及び通 知に従った監 査の結果、適性であった。</p>

今年度の目標 (全体)

IoT の活用方法をサブリーダー中心に模索し、利用者様の状態観察に繋がるよう努めました。また多職種で連携しケアを提供し、生活の質の向上を図りました。

年間平均要介護度 4.0

平均年齢 男性 82.6歳

女性 85.5歳

年間在園者実績 98.7%

人材定着の取り組み

・相談しやすい、働きやすい環境を作れるよう、定期的な面談の実施や風通しの良い風土づくりに取り組みました。

主に引っ越しや結婚等の家庭事情等を理由とし、数名の職員が退職しました。

年間離職率 既存全体：19.1%

介護職員：14.6%

行事

新型コロナウイルス禍のため、全体行事は実施できませんでしたが、少人数でも開催できるイベント・実施形態を検討し、出来る限りのイベント開催を行いました。

4月：お花見 8月：すいか割り

9月：縁日 (チーム毎)

11月：味覚会 12月：忘年会

研修

内部研修参加率 83% (レポート提出)

新型コロナウイルス禍のため、外部での研修参加や集合研修実施は難しいため、オンラインを活用した内部研修を実施し、可能な限りの自己研鑽に努めました。また普段は集合研修参加が難しい職員も研修参加ができました。

リスクマネジメント

施設内の消毒や感染予防を徹底し行うことができ、インフルエンザ及び新型コロナウイルス発生者をゼロにすることができました。

またIoTを活用し、事故防止に繋がれるように検討を行いましたが、確立できるような状態までには至りませんでした。

看取り

施設内での年間看取り者数 11名

主治医、看護師、介護職員とご家族との円滑な連携を行うことで、身体的・精神的な負担を軽減するケアの提供に取り組み、利用者様・ご家族に満足していただけるよう最善を尽くしました。

今年度の目標（医務）

・利用者様の身体・精神・体調の変化の早期発見や対応を意識して行うことができ、早期の対応に繋げることが出来ました。

・難しい症例の場合でも、その都度医療機関との連携をこまめに行い、適切な治療へと繋げることができました。

人材定着の取り組み

・看護職員全員で悩みなどを解決し合ったり、各自の得意分野を生かした業務分担を行いました。家庭の事情等での退職者はいましたが、その他の問題での退職者はありませんでした。今後も全員で明るく協力し業務に臨める環境整備に努めていきます。

行事

新型コロナウイルスの影響のため、むさしの園フェスタ等の大規模なイベントは中止となり、転倒等の事故が起こる事はありませんでした。その他小規模イベントでも、介護職員と協力することで、安全に終了する事ができました。

研修

新型コロナウイルス禍のため、レポート提出による研修でしたが、全看護職員が滞りなくレポート提出を行うことが出来ました。

また緊急時対応については、都度看護職員が中心となり、アドバイスをを行う等、1人ひとりのレベルアップが図れるように関わりました。

リスクマネジメント

・定期薬の配薬トレーを変更し、配薬方法を改善することで、大きな誤薬事故もなく経過することができました。今後も的確な配薬に努めます。

・酸素ボンベや医療廃棄物の取り扱いも適切に行う事ができました。

医療連携

新型コロナウイルス禍のため、可能なものはオンラインでの受診を行う等、適切な形での医療連携に努めました。

年間受診件数（電話診療等を含む）
かたぎりクリニック 22件
埼玉石心会病院 82件
奥原歯科 196件 その他 294件

令和2年度 事業報告書

事業所名 特別養護老人ホームむさしの園 りんごチーム

今年度の目標 (りんごチーム)

- ・利用者様一人ひとりを尊重し、個々のペースに合わせた支援に努めました。
- ・認知症の方に対し、不穏や不安を軽減できた成功例をノートやケース記録等で共有し考察しました。
- ・ショートステイ利用者様の情報を詳細に申し送り、統一した対応に努め安心いただけるよう図りました。

行事

- ・各月にあった装飾や行事を、職員全体で協力し合い実施することができました。
- ・毎月のレクリエーションについて入院や体調不良の方がおられ、参加率100%は未達成となってしまいました。

リスクマネジメント

- ・転倒事故に繋がらないよう整理整頓に努め安心な生活環境の提供を行いました。
- ・外傷リスクの高い方へ、衣類の工夫や使用品の保護を細目に行いました。
- ・チーム検討やノートを活用し、同じ事故やヒヤリハットの再発予防に努めました。

人材定着の取り組み

- ・職員間で業務等の悩みを話し合える雰囲気づくりに努めました。
- ・前年度2月、3月と中途職員の入職あり、積極的にアドバイスを行い知識と技術の向上に努めました。
- ・個別面談を通じて個人目標を設定する事で個々のスキルアップを図りました。

研修

- ・コロナ禍により動画や資料での参加がメインでしたが、対象職員は期日までにレポートを提出することができ、日々の業務に反映することができました。
- ・外部研修は参加に至りませんでしたが、今後も機会があれば積極的に参加していきます。

その他

- ・居室の換気、消毒を徹底し感染予防に努めました。
- ・コロナ禍で外出の機会が限られましたが、天気の良い日は外に出る等リフレッシュの時間を設けました。
- ・利用者様一人ひとりの生活スタイルに合わせたくつろぎの空間を考え、提供しました。

令和2年度 事業報告書

事業所名 特別養護老人ホームむさしの園 すももチーム

今年度の目標(すももチーム)

- ・利用者様一人一人の観察を常に意識して行い身体面、精神面の細かな変化にすぐ気づき、情報共有を行い統一した支援を行えました。
- ・介助を行う際に利用者様の立場になり、感謝の気持ちを忘れず、訴えや不安感に耳を傾け、安心感のある生活が送れるよう意識し取り組みました。

人材定着の取り組み

- ・新人職員や中途職員が入職するたびに業務マニュアルや排泄・水分・食事表の見直しを行い、見やすい工夫、統一した指導を行えました。
- ・職員同士、不安や負担に感じていること、悩みを相談・話し合い、チーム全体で共有し助け合いながら働きやすい環境づくりに努めました。

専門性の追求

- ・媒体から最新の認知症ケアについて情報を得た際に、職員同士で話し合い、実践可能なケアの際は実際に行うことができました。
- ・利用者様の状態を把握し、個々のニーズに合ったケアを考え、情報共有し、安心した生活が送れるように支援することが出来ました。

人材成長・自己実現

- ・認知症や個々の周辺症状について話し合い、個々で考えて理解を深め、ケアの基本を見直し業務に取り組みました。
- ・チーム会議内でむさしの園クレドの再確認を行い、「挨拶・笑顔・感謝の言葉」を意識して業務に取り組むことが出来ました。

リスクマネジメント

- ・利用者様の状態観察を行い、適切な対応を常に考え、職員間で情報共有を行い、事故予防に努めることが出来ました。
- ・事故が発生した際は、慌てず他職種と連携をし、冷静かつ迅速に対応することが出来ました。

住環境整備

- ・集いや楽しい時間を過ごして頂けるような行事、安心した生活が送れるよう環境づくりを行い、季節感を感じてもらいADLの維持や心身の健康、認知症予防を意識して取り組みました。
- ・感染予防の為、清潔な環境づくりを常に意識し感染予防に努めました。

令和2年度 事業報告書

事業所名 特別養護老人ホームむさしの園 かりんチーム

今年度の目標 (かりんチーム)

- ・変化するニーズに寄り添えるよう、ノートや日誌を活用し情報共有に努めたケアを行えました。
- ・新型コロナウイルス感染症流行もあり、利用者様がいつもの生活を送れるよう空気の換気、空気清浄機の設置、ピューラックスでの消毒、状態の観察徹底に努めました。

人材定着の取り組み

- ・根拠に基づいた、技術・知識の共有をチームで行えました。
- ・個別で話す場を設け、職員が気兼ねなく相談できるよう努めました。
- ・統一したケアを行うため、チームノート、日誌を活用し取り組むことができました。

行事

- ・新型コロナウイルス感染対策のため外出でのイベントは避け、屋内で取り組める行事内容・感染防止対策を行えました。
- ・行事内容に合わせたポスターを作成し、共用エリアに設置することで見て楽しみ・体感して楽しいが実現することが出来ました。

研修

- ・内部研修レポートの提出を促し、常勤職員だけでなくパート職員も知識に触れ、学ぶ機会を作ることができました。
- ・参加率100%を目標としチームに呼び掛けていたが達成することができませんでした。

リスクマネジメント

- ・リスクマネジメントをチーム全体で都度話し合い、対応策を講じることができました。
- ・ケア動作を一つひとつ丁寧に、リスクを意識して行えていないと感じた為、ヒヤリハット、事故へ繋げないため初心の気持ちを持ってケアに取り組んでいきたいと思えます。

ターミナルケア

- ・感染予防の為、面会方法の変更、制限を設け、限られた時間ではありましたが、ご家族、ご利用者の要望、希望を汲み取りできる限り応えることができました。
- ・褥瘡ゼロを目指すことができなかった為、栄養状態、体位交換等を再度見直し対応していきます。

令和2年度 事業報告書

事業所名 特別養護老人ホームむさしの園 あんずチーム

今年度の目標（あんずチーム）

- ・利用者様の状態を細目に観察し、職員同士で情報共有し話し合い、個々に合ったケアをできるように努めました。
- ・ケアを行う際は事前の声掛けを徹底し、安全に配慮して行いました。
- ・職員同士で協力し利用者様が過ごしやすい、職員が働きやすい環境に出来るよう今後も取り組んでいきます。

人材定着の取り組み

- ・数名の職員が退職してしまいましたが、職員同士で協力や話し合うことを大切にシマイナスにならないよう努めました。
- ・業務負担軽減のために業務分担等の見直しを行いましたが見直しできなかった面もあるため、来年度も働きやすい環境づくりに取り組んでいきます。

行事

- ・新型コロナウイルス禍のため、自チーム以外との合同イベントがない状況でしたが、装飾の工夫や小規模でも行える内容を考え、施設内で四季を感じられるよう取り組みました。
- ・様々な身体状態の利用者様がいる中で一人ひとりに楽しんでいただけるような行事計画に努めました。

研修

- ・動画や資料での研修となっている状況でしたが、一人ひとりが毎月レポートを提出することができました。
- ・研修で得た知識をチームで実践し、意見を言い合うことでチーム全体のレベルアップに取り組むことができました。

リスクマネジメント

- ・利用者様の状態把握をし、安心・安全な生活の提供に努めました。
- ・僅かな変化でも気づいた際は他職種へ報告し、もしもの場合を想定した行動を行えるよう努めました。
- ・ヒヤリハット・事故発生時は報告書を作成し、原因分析を行い今後の対応を考え再発防止に努めました。

胃ろう者へのケア

- ・利用者様一人ひとりに合った栄養摂取方法、管理方法を考え、多職種と連携してより良い提供が行えるように努めました。
- ・利用者様が安心して生活出来るように胃ろう者に対するケアの向上に努め取り組みました。

令和2年度 事業報告書

事業所名 特別養護老人ホームむさしの園 各委員会

レクリエーション委員会

- ・毎月10日までに月間予定表を作成し、余暇支援表の提出を滞りなく行いました。
- ・コロナ禍のため、行えるイベントの制限はありましたが、その中でも季節ごとや毎月のイベントを考え、小規模・少人数でも利用者様が楽しめるものを提供できるよう努めました。また都度、計画書や報告書の作成・提出を滞りなく行いました。
- ・イベントでは、職員がスムーズに動けるよう、タイムテーブルを作成することで、イベントが円滑に行えるように努めました。
- ・季節ごとにフロアの飾りつけを行い、利用者様が楽しめるよう、また季節感を感じられるように努めました。

生活向上委員会

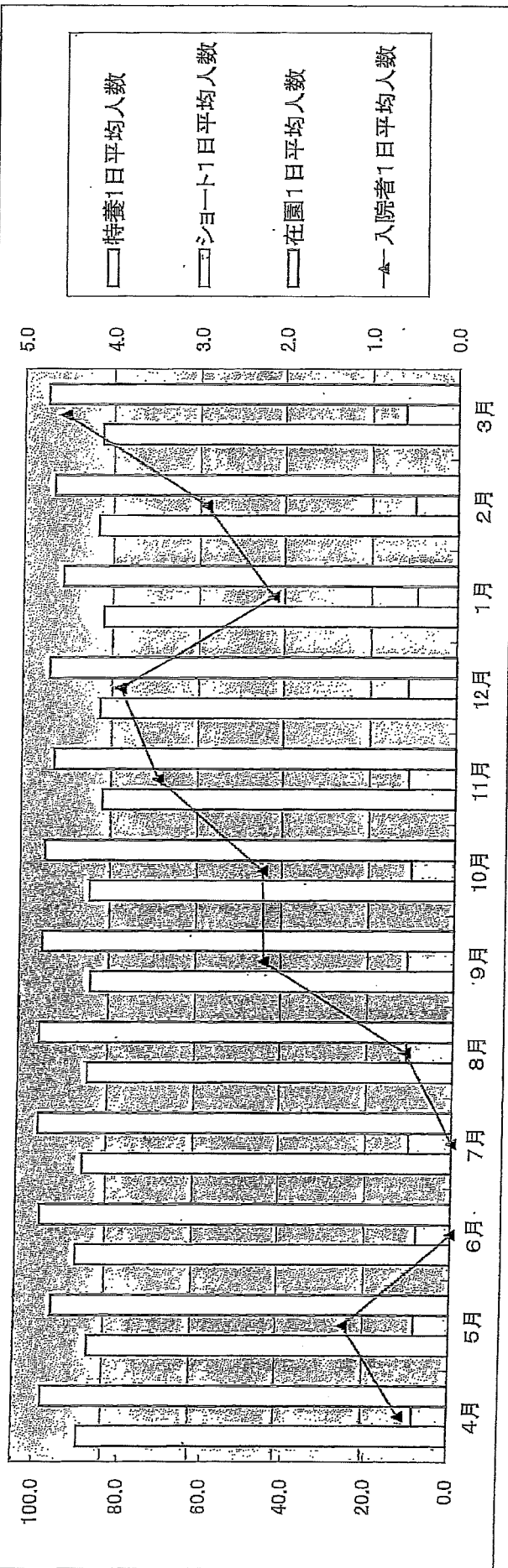
- ・業務負担軽減の為、毎月行う業務をチーム内で分担しました。
(ポット洗浄→夜勤者 歯ブラシ交換→広報委員会 加湿器→割振りを生活向上で行う)
- ・布おむつが廃止になりました。
- ・フェイスタオル、バスタオル、青タオル、おむつカバー、布おむつ等の必要物品の在庫確認を行い、過不足のないように努めました。
- ・食享用エプロン、アイスノンノ在庫確認を実施しました。
- ・12月に入居者忘年会を委員が中心で感染予防に配慮し実施しました。

広報委員会

- ・偶数月ごとに広報誌を作成し、ご家族に配布することで施設内での様子をお伝えできるよう努めました。
- ・定期的にイベントのポスターを作成し、各チームで掲示を行う事で、利用者様に告知やイベント後の様子を楽しんで頂けるよう努めました。
- ・年度末にチーム毎で1年間の全利用者様の様子をまとめたポスターを作成しました。
- ・共有フォルダーを活用し昨年度の写真発注、ポスター作製、写真管理、広報誌などの業務をチーム毎に割り振る必要性がなくなり業務時間の短縮や効率が上がりました。
- ・生活向上より、利用者様の歯ブラシの交換業務を引き継ぎ毎月実施しております。

令和2年度 むさしの園 在園者実績人数

2021/4/1



令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度
特養1日平均人数	89.6	87.6	90.8	89.5	88.7	88.3	88.7	85.9	86.7	86.0	87.4	86.6	88.0	82.1
シヨート1日平均人数	8.6	8.7	8.5	10.5	11.3	11.3	10.5	11.4	11.8	9.7	10.4	12.8	10.5	14.5
入院者1日平均人数	0.6	1.2	0.0	0.0	0.5	2.2	2.2	3.5	3.9	2.1	2.9	4.5	2.0	1.2
在園1日平均人数	98.2	96.3	99.2	100.0	100.0	99.6	99.3	97.4	98.5	95.8	97.9	99.4	98.5	96.6
特養月間延べ人数	2,688	2,716	2,723	2,894	2,801	2,648	2,751	2,578	2,689	2,607	2,448	2,684	2,683.1	2,504.8
シヨート月間延べ人数	258	270	254	324	350	340	326	343	366	302	292	397	378.5	440.8
延べ入院者日数+入院退院前後日数	17	38	0	0	17	66	69	104	121	66	85	141	60.3	35.7
措置入所依頼(特養)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0	0.8
措置依頼利用人数(短期)	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.8	0.0
入居者数	6	4	1	1	0	1	1	3	0	2	2	0	1.8	2.2
退居者数	4	1	0	1	1	1	2	1	3	1	0	2	1.4	2.1
申込者数	7	4	3	7	7	6	5	7	6	5	0	6	5.3	5.4
待機者数(月末時点)	63	64	62	66	71	70	69	72	71	69	69	73	68.3	-
面会者人数	0	0	0	83	95	67	69	78	82	11	2	36	43.6	358.7

利用者様状況

① 食形態別人数

常食・常菜 13名 常食・刻み 1名
 軟飯・常菜 8名 軟飯・刻み 11名
 軟飯・超刻み 1名 粥・常菜 2名
 粥・刻み 24名 粥・超刻み 11名
 粥・ミキサー 1名 ミキサー・超刻み 1名
 全ミキサー 11名 流動 5名

② 療養食喫食者人数

糖尿食 2名 心臓病食 4名

栄養給与量

熱量	蛋白質	脂質	Ca	鉄
1587	60.9	38.7	696	7.1
kcal	g	g	mg	mg
VA	VB1	VB2	VC	
757	1.45	1.21	110	
μgRE	mg	mg	mg	

行事食

季節を感じられるよう行事食を提供した。

- ・四季折々の行事
- 端午の節句、七夕、敬老の日、クリスマス、正月、バレンタイン etc
- ・毎月 誕生日食、特養喫茶店
- ・その他 各部署イベント、みんなの日曜日、お祭りメニュー etc

職員研修

新型コロナウイルスが流行しており、狭山市内施設栄養士会議は開催中止となり、外部研修等も参加困難な状況のため、オンラインを活用した内部研修に参加・報告書を提出し、自己研鑽に努めた。

嗜好調査

特養は回答可能な利用者様を対象に聴き取り調査、ケアハウスは利用者様自身がアンケート用紙に記入する形式で実施した。

- ①食事は楽しみですか？②ご飯・お粥の炊き具合はいかがですか？
 - ③おかずの硬さはいかがですか？④食事の味付けはいかがですか？
 - ⑤和菓子・洋菓子は好きですか？⑥盛り付け方についてどう思われますか？
 - ⑦食事についてどう思われますか？（満足度）
 - ⑧献立に取り入れてほしい料理はありますか？⑨その他意見、希望
- 硬さや味付けは9割近い方にちょうどいいという評価を頂けた。全体の満足度に関しては満足が6割でまあまあとそこまで差を付けられなかったが、不満は1割以下に抑えることができた。意見を参考に、より満足度を向上していく。

<誕生日食の内容報告>

月	内容
4月	たけのこご飯、鶏の梅しそ天ぷら、かつおたたき、春野菜の炊き合わせ、菜の花の酢味噌和え、水菓子、生麩と三つ葉のお吸い物
5月	山菜おこわ、桜海老クリームコロッケ、シーフード卵巻き、筍のおかか煮、菜の花の辛子和え、メロン、とろろ昆布と花麩のお吸い物
6月	枝豆ご飯、鶏天&夏野菜の天ぷら、錦糸しゅうまい、冬瓜となごみ巻きの炊き合わせ、ほうれん草のおかか和え、水まんじゅう、手毬麩とそうめんのお吸い物
7月	あなご散らし、冷製豚しゃぶ、野菜巾着の炊き合わせ、スイカ、つみれとかまぼこのお吸い物
8月	五目ご飯、フライ盛り合わせ、鶏肉の八幡巻き、華茶巾と夏野菜の炊き合わせ、モロヘイヤのお浸し、ロールケーキ(メロン・スイカ)、手毬麩とあさりのお吸い物
9月	赤飯、天ぷら、だし巻き玉子、炊き合わせ、小松菜のごま和え、梨、そうめんと花麩のお吸い物
10月	栗おこわ、から揚げ(甘辛ネギソース)、錦糸焼売、炊き合わせ、いんげんのごま和え、柿、生麩とあさりのお吸い物
11月	鮭といくらの親子ご飯、豚の角煮、ほうれん草のお浸し、みかん、手まり麩とそうめんのお吸い物
12月	五目ご飯、フライ盛り合わせ、華茶巾、高野豆腐の含め煮、小松菜の柚子香り和え、ケーキ(ストロベリー・抹茶)、お吸い物
1月	赤飯、鶏肉の野菜巻き、天ぷら、つみれの含め煮、春菊のくるみと和え、いよかん、手鞠麩のお吸い物
2月	助六寿司、から揚げ、シーフード卵巻き、大根の煮物、菜の花の磯和え、ケーキ、あさりと花麩のお吸い物
3月	桜ちらし寿司、天ぷら(3種盛り)、筍のおかか煮、甘夏、そうめんと手毬麩のお吸い物

利用者様状況

・年間利用実績	3, 822日	・平均要介護度	2.68
(男性)	2, 152日	・平均年齢	83.7歳
(女性)	1, 670日	・1日平均利用数	10.5人
・新規利用者数	45人	・送迎回数(片道)	1, 042回

利用者様本位

利用者様本人、ご家族のご要望に応じた対応を行っています。また、一人ひとりとコミュニケーションを取り、利用者様本位に努めています。
施設のスケジュールに沿った生活リズムをご案内しますが、ご希望により、居室で過ごす、テレビを見る等、自由に過ごしていただいています。

- ・在宅困難者(長期利用) 11人 月に20日以上のご利用、または連続して30日ご利用の方
- ・毎月利用日固定者 20人 固定された日程で自動的に予約しています
- ・夫婦同時利用 2組 2人部屋を夫婦同室でご利用いただきました

専門性の追求

特養のチームケアに基づき、自立度の高い方や認知症の進行している方等、ご本人に合った対応を行っています。また、ご本人の医療ニーズに合わせた看護・処置を行い安心できる生活を送っていただけるよう努めています。

- ・胃ろう : 2名 経管の接続・解除、栄養の流入を1日2回実施
- ・ストマ対応: 2名 ストマからの排便、洗浄、および交換を随時実施
- ・バルン対応: 3名 バルンカテーテルからの排尿確認、バッグの洗浄
- ・インシュリン対応 : 2名 インシュリン注射を適宜(1日1回~3回)
- ・酸素カニューレ対応: 2名 酸素濃縮装置(酸素ボンベ)の使用
- ・ショートステイ利用から特養への入所: 4名
- ・視覚障がい者の対応: 1名
- ・コロナウイルス対策: 3日利用に対して90単位算定
(新型コロナウイルス感染症に伴う特例取扱いに基づく対応)

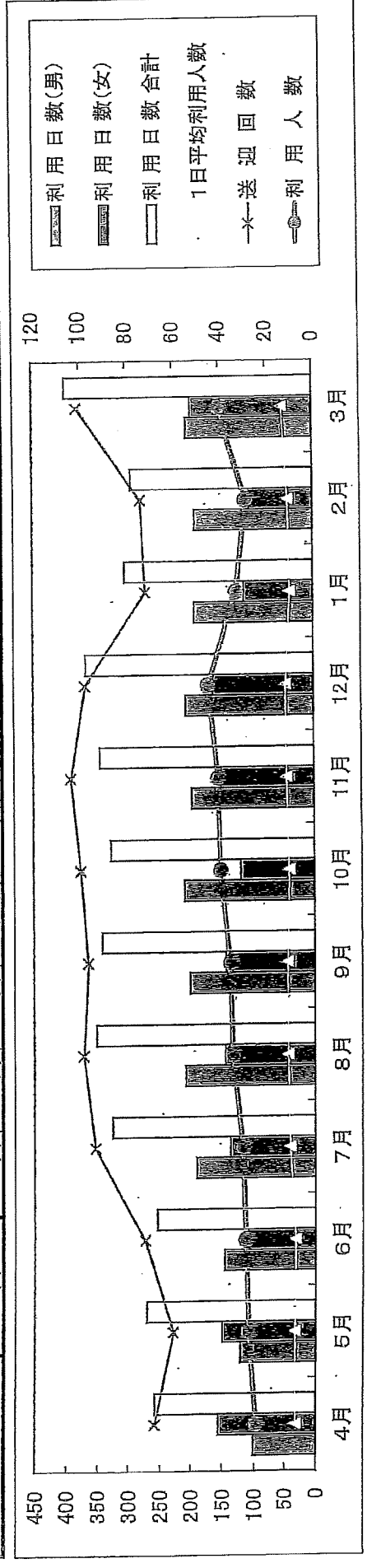
地域連携

定期的に居宅支援事業所を訪問し、利用者様・新規利用希望者の状況を把握し地域の要望にお応えしております。また、市役所からの措置依頼も随時受け入れています。

- ・措置依頼 : 打診2件 1件受入れ
- ・緊急受入加算: 2名 計14日算定

令和 2 年度 ショートステイ利用状況 (全体)

令和 2 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	1 ヶ月平均
利用日数(男)	102	121	145	189	207	199	208	195	205	190	189	202	2,152	179.3
利用日数(女)	156	149	109	135	143	141	118	148	161	112	103	195	1,670	139.2
利用日数合計	258	270	254	324	350	340	326	343	366	302	292	397	3,822	318.5
1 日平均利用人数	8.6	8.7	8.5	10.5	11.3	11.3	10.5	11.4	11.8	9.7	10.4	12.8	125.6	10.5
稼働率	86.0%	87.1%	84.7%	104.5%	112.9%	113.3%	105.2%	114.3%	118.1%	97.4%	104.3%	128.1%	-	104.7%
送迎回数	69	61	73	94	99	97	100	104	98	72	74	101	1,042	86.8
平均滞在日数(1回利用)	7.7	6.1	5.4	5.1	5.1	5.1	5.0	4.8	4.9	5.1	5.1	6.2	-	5.3
利用人数	26	29	30	31	35	36	40	41	45	33	29	40	415	34.6
(内マホノ外マホ)	(8/18)	(9/20)	(11/19)	(14/17)	(15/20)	(17/19)	(15/25)	(17/24)	(21/24)	(15/18)	(12/17)	(16/24)	(170/245)	(14.2/20.5)
延日数	48	57	28	31	34	59	41	43	54	45	27	59	526	43.8
介 1	43	50	69	105	90	76	106	132	101	68	105	97	1,042	86.8
介 2	44	69	108	97	106	112	83	67	67	53	46	72	924	77.0
介 3	112	81	29	69	106	82	81	85	125	122	105	160	1,157	96.4
介 4	3	6	10	9	6	7	7	7	10	7	9	9	90	7.5
介 5	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0.2
支 1	8	7	10	13	8	4	8	8	8	7	0	0	81	6.8
支 2	1(2/0)	5(2/3)	5(2/3)	1(1/0)	4(2/2)	3(2/1)	3(1/2)	9(5/4)	3(1/2)	3(0/3)	3(1/2)	4(2/2)	44(20/24)	3.7(1.7/2)
新規契約数(内/外ホ)	4.4(1.1/3.3)	3(0/3)	7(4/3)	1(1/0)	3(1/2)	5(3/2)	3(1/2)	8(3/5)	2(1/1)	4(2/2)	3(1/2)	4(2/2)	45(20/25)	3.8(1.7/2.1)
利用開始数()	2.1(1/1.1)	1(0/1)	1(0/1)	1(1/0)	1(0/1)	0(0/0)	1(0/1)	1(0/1)	2(1/1)	1(0/1)	1(0/1)	1(1/0)	17(6/11)	1.4(0.5/0.9)
契約解除数()	2(10)	1(8)	1(8)	0(0)	0(0)	2(6)	2(25)	0(0)	3(17)	3(15)	2(15)	1(8)	17(12)	1.4(0.3)
入館による予約人数(日数)	0(0)	0(0)	1(9)	1(31)	1(31)	1(30)	1(31)	1(30)	1(31)	1(31)	1(28)	1(31)	10(283)	0.8(23.6)
精算依頼利用人数(利用数)														



令和2年度 事業報告書

事業所名 むさしの園わかば

(全体平均介護度 3.89)

今年度の目標 (入居者様)

- ・ユニットリーダー研修受け入れ施設を目指し、ケアマニュアルの作成を開始した。
- 24Hシートを活用するために、ユニットごとに担当職員を決め、定期的に更新を行った。
- ・年間入居者月平均数 97.1名
- ・入居申し込み月件数 2.2件

今年度の目標 (職員)

- ・法人理念を浸透させるため、申し送り時にクレドの唱和を行い、理解を深めた。
- ・今年度離職率年間目標 10%としたが、わかば全体 7.5%、介護職員 8%であった。離職を防ぐために、職員が不安を抱え込まないように介護主任、副主任、リーダー等が相談に乗り離職を減らすことができた。

行事

- ・コロナ禍のため、施設全体の行事は中止となってしまったが、ユニットごとに、お花見、お祭り、忘年会など行った。
- ・クラブ活動は中止とした。

研修

- ・コロナ禍のため、職員が集まっている内部研修は実施できなかったが、資料を作成し、職員が学べる体制を作った。外部研修はオンラインで参加した。
- ・実務者研修参加 9名 (法人全体)
うちわかば 4名

リスクマネジメント

- ・受診を伴う事故 6件
全て入居者様自身で動かれ転倒することだったため、ベッドセンサーなどの設備を行い、事故の予防に努めた。
- ・コロナ禍において内部研修を行うために、密にならないよう研修担当者がオンライン研修に切り替え対応した。
- ・身体拘束は年間通して 0件を維持している。

その他

- ・ユニットケア推進委員会にて 24h シートの進捗状況の確認、使用する意味の説明を行った。
- ・地域活動はコロナ禍のため実施できなかったが、感染対策として発熱者の対応、ゾーニング、1日2回次亜塩素酸による消毒を行い、感染症の発生を防ぐことができた。

令和2年度 事業報告書

事業所名 むさしの園わかば 医務

今年度の目標報告（入居者様）

- ・入居者様の健康管理に努め、施設での生活を継続出来るように支援することができた。
- ・入居者様の状態に変化があったときは、ご家族に報告することができた。ご家族に安心感をもっていただけるように、より多くの場面での報告をしていきたい。

今年度の目標（職員）

- ・医務内で、申し送りノートを活用し、情報共有をすることができた。
- ・看護職全員で協議をし、統一した方向性を持って、入居者様に合った看護を考えていけるように努めた。
- ・小勉強会を実施することができなかった。

多職種連携

- ・職員間でコミュニケーションを増やし、必要な情報が得られるように連携を図るように努めた。
- ・問題解決の道筋を共に摸索するため、担当者会議での発言をおこない、また、問題提起に関して、都度話し合うことができた。

看取りに対する思い

- ・入居者様がわかばで安楽に生活できるように支援することができた。
- ・家族様と話す機会を設けながら、終末期において、ご家族様に安心感を与えられる説明ができるように努めた。

リスクマネジメント

- ・誤嚥性肺炎のリスクを減らせるよう、アドバイスに努めた。
- ・転倒や皮下出血があった場合、対応方法を介護職と共に検討し、予防へのアドバイスをすることができた。
- ・慢性疾患の増悪を早期発見にできるように観察することができた。
- ・褥瘡の発生予防に努め、発生した場合は早期治療、対応方法を介護職と一緒に考え対応することができた。

ユニットケア

- ・入居者様、一人一人の暮らしを第一に考える視点を持ち、看護をおこなうことができた。
- ・可能な限り、家族と関わり合いを持ちながら、ひとりひとりの生活が良いものとなるように努めることができた。

令和2年度 事業報告書

事業所名 むさしの園わかば 椿ユニット
(平均介護度 3.83)

今年度の目標 (入居者様)

- ・24時間シートの作成を通し、入居者様1人ひとりが望む暮らしを提供できるように努めた。
- ・入居者様に対し尊敬・感謝の気持ちを持って接し、積極的な関わりを持つことで、信頼関係を築くことができた。

今年度の目標 (職員)

- ・何でも相談し合え、情報共有を密に行うことで、職員同士の信頼関係を築くことができた。
- ・毎月のユニット会議を通し、職員が積極的に意見を述べることでより入居者様へのより良い対応ができるようになった。

行事

- ・新型コロナウイルス流行により感染予防のため、外出や外食の機会はなかったが、ユニット内でレクリエーションを行い入居者様に楽しんでいただくことができた。
(年間12回)
- ・12月からは週に1回、昼食時にユニットで汁物を作り、家庭的な雰囲気作りに努めた。

研修

- ・内部研修は、感染症予防のため書面での参加となったが、各自で学習し知識を深めスキルアップに努めた。
- ・ひもときシートを用いて、認知症の方への事例検討を今年度は実施できなかったため、来年度に持ち越し行う。

リスクマネジメント

- ・褥瘡ができてしまった入居者様に、多職種と連携を図り、早期に原因追求やケアを行うことで、完治に繋がった。
- ・目標通り尿路感染症ゼロとはいかなかったが、(4件)正しい排泄ケアの見直しを行い、入居者様の清潔保持に努めていくことができた。

その他

- ・感染症予防のため面会制限の中、差し入れに来られたご家族には日ごろの生活の様子を伝え、安心して頂くことができた。
- ・ユニット職員が1日10回以上「ありがとう」と感謝の気持ちを関わるすべての方に伝えられるように努めた。

令和2年度 事業報告書

事業所名 むさしの園わかば 梅ユニット
(平均介護度 4.14)

今年度の目標 (入居者様)

- ・入居者様の生活リズムに合った24Hシートを作成し、入居前後の生活が同じく継続できるように、引き続き務めた。
- ・コロナ禍のため、ご家族との連携が難しい中、設えや部屋の配置を工夫して安心して暮らせる環境作りに努めた。

今年度の目標 (職員)

- ・資格取得の為、職員間で協力して勤務調整等を行い自己啓発できる環境作りに努めた。
- ・、当法人の理念と共にユニットケアの理念を念頭に研修やクレドを通じ、入居者様の暮らしの継続を第一に考え、サービス向上に努めた。

行事

- ・余暇推進委員会を中心に、新型コロナウイルス感染症に留意しながら、季節に合ったレクリエーションを提供し四季を感じ取ってもらえるように努めた。(年間6回)
- ・入居者様同士が円滑にコミュニケーションを図れるように、職員が間をとり持つように務めた。

研修

- ・コロナ禍において内部研修が難しい中、法人の協力によりリモート研修や動画での研修が行えた。勤務中に研修動画を見る時間をやる事で参加率100%に努めた。

リスクマネジメント

- ・身体拘束・事故検討委員会を中心に、職員個々で自己分析を行い、ユニット会議等で検討を行った。
- ・会議で意見を出し合い、情報共有する事で危険予測が出来るように努め、入院に繋がる事故を0件にできた。

その他

- ・ユニット会議を毎月実施し、ピックアップした入居者様の24Hシートを話し合い、作り込む事で、問題意識を持ち統一ケアを目指すことに努め、事故による入院を0件にする事に努めた。

令和2年度 事業報告書

事業所名 むさしの園わかば 柚ユニット
(平均介護度 4.18)

今年度の目標 (入居者様)

- ・入居者様に対してコミュニケーションを多く図り、安心した生活が送れるように心掛けた。
- ・ご家族と会えない不安や寂しい気持ちが少しでも軽減されるように、入居者様の気持ちに寄り添ったケアに努めた。

今年度の目標 (職員)

- ・毎月、ユニット会議を実施し、入居者様一人ずつ、日々の状態や個別ケアについて話し合うことにより、情報共有やケアの統一に繋げることができた。
- ・24Hシートを活用しての個別ケアの提供は不十分である為、活用できる様に努めた。

行事

- ・新型コロナウイルス感染症のため、外出レクリエーションは行えなかったが、それに替わるおやつレクリエーションや職員による出し物等を企画し実施できた。(年間12回)
- ・レクリエーションを通して、できる限り入居者様の気分転換を図れるように努めた。

研修

- ・研修資料を参考に、職員一人ひとりが個々に介護知識や介護技術の習得に努めた。
- ・実践形式の研修ができなかった為、今後はユニット内で具体的な介護技術を学べる場を設けていく。

リスクマネジメント

- ・ユニット職員全体で事故報告やヒヤリハットの原因分析を行い、それに対する対策案を考えて再発防止に努めた。
- ・日頃より、入居者様一人ひとりの食事状況を把握して、嚥下状態を考慮し、居室担当が中心となり食事形態等の見直しを行った。

その他

- ・外出が難しい状況であった為、日々過ごされるユニット内を落ち着いた、居心地の良い雰囲気となる様に心掛けた。
- ・ご家族に対して、ユニットから手紙を郵送し、面会時に近況を伝え、ご家族の要望に応えられるように努めた。

令和2年度 事業報告書

事業所名 むさしの園わかば 桜ユニット
(平均介護度 3.33)

今年度の目標 (入居者様)

- ・毎月ユニット会議を開催。入居者様の状態に合わせた対応を検討・共有した。耳が遠い入居者様が多く、職員が間に入り入居者様同士で話をする機会を多く持ち、1・2丁目を行き来され特定の方と話しをされるご入居者様が1名から3名に増えた。

今年度の目標 (職員)

- ・精神疾患がある入居者様の時間別の行動表を作成し不穏状態になりやすい時間を把握し、事前に声かけや作業レクを提供することにより落ち着いた生活が出来るよう努めた。
- ・介護福祉士に2名合格し、実務者研修に1名参加した。

行事

- ・計画通りに毎月2回以上のユニット内レクリエーションを達成することができた。ランタンや匂い袋等の作成系のレクリエーションを増やした。風鈴は作品展に出品した。(年間24回)
- ・女性の入居者様から料理をしたいと希望があり、一緒に得意な料理を作り、披露する場を設けた。

研修

- ・外部研修は新型コロナウイルス感染症の影響により参加は難しく、リモートによる研修に参加した。
- ・内部研修も密になるため、動画による研修となり、各自課題を提出した。
- ・来年度は外部研修の参加人数を増やし見聞を拓げる事が課題。

リスクマネジメント

- ・1人、疥癬疑いの入居者様がいたが迅速に対応する事で他入居者様に拡大せずに日々を過ごせた。
- ・予測できる事故に対し適切な対応を複数名で検討・実行することで繰り返しの事故を防ぐ。

その他

- ・サービス担当者会議に合わせて、24Hシートを居室担当者がユニット職員へ聞き取りしながら作成・更新を行い、完成した。
- ・感染症対策として表を活用し1日2回の消毒・清掃をおこない、感染症を防ぐことができた。

令和2年度 事業報告書

事業所名 むさしの園わかば 楓ユニット
(平均介護度 4.00)

今年度の目標 (入居者様)

- ・居室内整理のためラベルシールを使用し、入居者様が分かりやすく、ご自身で使用できるように整頓した。
- ・入浴時に入居者様に服を選んでいただき希望に沿うようにした。
- ・コップ、ストロー、などを使用し、提供の仕方を検討し水分摂取量 1200cc を目指した。

今年度の目標 (職員)

- ・Do-CAP 面接やユニット会議を用いて職員一人ひとり、目標に向かって行動した。
- ・一日一回、その日に出勤した職員同士でこまめにコミュニケーション取れることは出来ており、情報共有ができる環境を整えた。

行事

- ・感染症予防のため外出を避け、おやつレク等で季節を感じられるものを提供した。(年間10回)
- ・コロナ禍の中で外出がほとんど出来なかったが、少人数ずつ短時間、施設を出て敷地内や、リハビリロードへの散歩をする事が出来た。

研修

- ・資格取得に向かって勉強する職員、インターネットを使用して研修に参加する職員、本を買い勉強にはげむ職員、各々ではあるが知識を向上するべく、職員一人ひとりが介護職員としての底上げに力を入れることができた。

リスクマネジメント

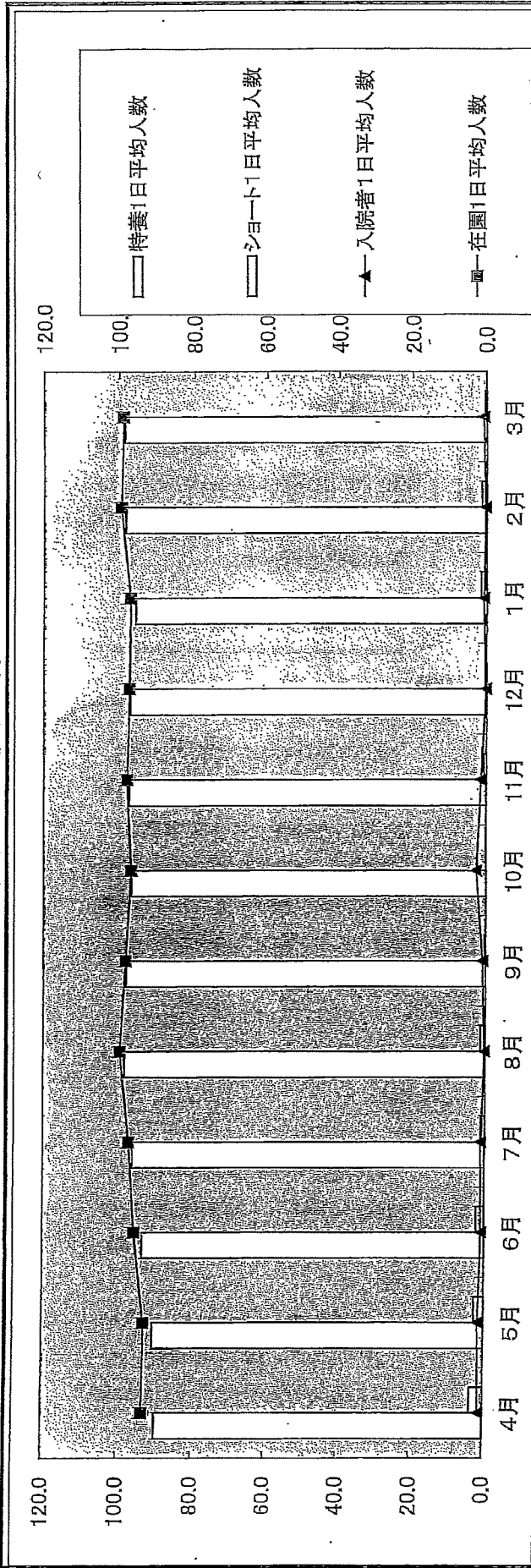
- ・ユニット会議で事故検討を行い、共通認識を持ち事故を防ぐ努力をした。
- ・ヒヤリハットに対し、ユニットの職員間で認識のズレがあったため、ユニット会議で修正を行い、入居者様の安全確保に務めた。
- ・入居者様ごとに、排泄介助の方法を検討し、褥瘡の発生を最小限に防ぐことができた。(年間2件)

その他

- ・広報委員会が写真を撮り HAPPY SMILE に掲載し、入居者様の日々の様子をご家族も閲覧できる形になった
- ・一年間を通して24Hシートに力を入れ、少しずつ職員皆が理解しユニット会議でも進捗を追うなど定期的に話し合うことが出来てきた。

在園者実績人数

2021/3/31



令和2年度	前年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養1日平均人数	92.5	89.8	90.6	93.6	96.2	98.5	98.0	96.8	97.4	97.2	95.7	98.4	98.6	95.9
シヨート1日平均人数	2.1	3.5	2.5	2.1	1.0	1.3	0.3	0.0	0.6	0.2	1.3	1.2	0.3	1.2
入院者1日平均人数	2.0	1.2	1.5	0.9	1.0	0.2	0.8	2.6	1.4	0.1	0.7	0.2	0.7	0.9
在園1日平均人数	94.7	93.3	95.7	97.2	99.7	98.3	96.8	98.0	97.4	97.0	99.6	98.9	97.7	
延べ面会者数	64	16	30	18	152	173	170	187	185	49	3	41	100.2	
特養月間延べ人数	2,322	2,308	2,807	2,983	3,052	2,939	3,001	2,922	3,012	2,967	2,756	3,058	2916.6	
シヨート月間延べ人数	61	72	61	31	39	9	0	17	5	39	32	8	34.7	
延べ入院者日数+入退院前後日数	141	270	132	186	91	52	99	57	72	94	12	42	95.4	
入居申し込み	34	11	2	2	3	2	2	2	2	3	4	3	27.0	
入居者数	3	4	3	7	0	4	2	2	1	3	1	0	28	
退居者数	3	2	2	2	1	3	2	2	5	1	0	0	21	
申込者数			2	2	2	2	2	2	2	3	4	3	24	
待機者数			18	12	14	12	12	12	12	12	16	18	138	

栄養管理

食種状況

主食	常食	軟飯	粥	ミキサー粥
	37名	17名	29名	14名
副食	常菜	刻み	極刻み	ミキサー
	57名	28名	0名	12名

(令和3年3月25日現在99名
うち2名は経管栄養)

給与栄養量

	エネルギー	蛋白質	脂質
平均	1560kcal	66.1g	43.6g
基準量	1497kcal	52.3g	41.6g
充足率	104.2%	126.4%	104.8%
	食塩量	カリウム	水分
平均	8.8g	653mg	1171g

1人1日あたり平均 (R2/4/1~R3/3/31)

行事食

- ・誕生食では、旬の食材や普段食べられないお刺身等を提供し、好評を得る事が出来た。
- ・喫茶店では、毎月のテーマを一部変更し実施。マンネリ化を回避し入居者様の楽しみの一つとなるよう店舗へ相談等を密に行った。
- ・わかば祭りは新型コロナウイルス感染症の影響の為、各ユニットで小規模開催となった。各担当と綿密な打ち合わせを行いユニットの個性が出るようなイベントになった。
- ・気候変動による不作、輸入品の価格変更等の影響により、食材費が高騰してしまった。今後、調味料等の見直しや物価変動へのアンテナを張り、食材費の抑えながらも美味しい食事の提供ができるようにする。

衛生管理

・新型コロナウイルス対策

スタッフ各々が3密回避・換気・消毒など、ウイルスへの正しい知識を身につけ、感染の予防・拡大を防ぐ対策を行った。ケアラー事業においても、感染防止に努め食事の提供を行った。

・発熱者の対応について、感染の可能性を考慮し、消毒とフェイスガード対応を徹底して行った。

・食中毒予防のため、手洗い励行の強化を行う。同時に、手が触れる箇所の食毒を定期的に行い細菌等の繁殖を抑えることができている。

多職種連携

・ユニットケア推進委員会に参加し委員会メンバーと意見交換しながらケアマニュアル作成を行った。

・24時間シートの作成を促せるよう各ユニット担当に分かれ、進捗状況等の確認を行った。サービス担当者会議でも活用されるようになり、食事場面以外の部分も見えるようになった。

人材定着・育成

・厨房内の掲示物を整理し、色分け等で見やすいものに変更した。

・調理や盛り付け・味付け等に留意し、美味しい食事の提供を心掛けた。

・業務分担を共有し、欠員があった場合は担当外でもフォローができる体制を作った。

利用者状況(定員20名)

(R3年3月31日現在)

入居状況 男6名 女12名 (合計18名16世帯)
 平均年齢 87.3才 (男86.7才 女87.8才)
 最高年齢 99才
 最低年齢 71才

年齢層	男	女	計
70～74	1	1	2
75～79	0	0	0
80～84	0	2	2
85～89	3	4	7
90～94	2	2	4
95～98	0	2	2
99	0	1	1
	6	12	18

利用前の生活状況

利用前の居場所	男	女	計
単身	3	7	10
夫婦	1	3	4
子供と同居	1	1	2
老人保健施設	0	1	1
サ高住	1	0	1
	6	12	18

年金受給状況(2つ以上受給者あり)

年金の種類	男	女	計
国民年金(老齢)	1	1	2
(老齢基礎)	0	1	1
(通算老齢)	1	1	2
厚生年金(老齢)	5	6	11
(通算老齢)	1	0	1
(遺族)	0	3	3
	8	12	20

介護認定

	支援1	支援2	要介護1	要介護2	要介護3
男	1	2	2	1	0
女	1	1	5	4	1
計	2	3	7	5	1

研修

・感染症対策のため、動画配信の研修を視聴し業務に役立てました。

入居・退去状況

入居者 2人 退去者 2人

- ①新入居者2名の入居前の住所
 ・狭山市:1人 小平市:1人
- ②申し込み理由
 ・特養わかばに夫入居後他界。施設の職員の対応が気に入り入居。
 ・独居者、家族が日常生活を心配し見学後、気に入り入居。
- ③退去理由
 ・老健1人 特養わかば1人

利用前の生活地域

	男	女	計
狭山市	2	7	9
所沢市	1	2	3
川越市	1	0	1
横浜市	0	1	1
千葉市	1	1	2
新宿区	1	0	1
小平市	0	1	1
	6	12	18

介護保険保険者

地域	男	女	計
狭山市	2	7	9
所沢市	1	2	3
川越市	1	0	1
横浜市	0	1	1
千葉市	1	1	2
新宿区	1	0	1
	6	12	18

行事・日常生活

コロナウイルス感染症対策強化のため、施設行事・移動図書・買い物ツアー・外出・ボランティア活動等は中止となりました。

感染症対策をしっかりと行い、少人数での映画鑑賞・職員対応での移動販売・宅配を行いました。下肢筋力・閉じこもりを防ぎ、積極的にリハビリロードを使用し活気ある生活に取り組みました。

利用者様状況

- ①平均要介護度 2.1
 - ②男女比 男性 4割 女性 6割
 - ③平均年齢 85.5歳
 - ④1日平均 31.3人
 - ⑤月延べ平均 805.5人
- ※利用状況別紙参照

利用者様本位

「自分の親に利用させたいデイサービス」を目標とし利用者様本位のサービスを提供できるように努めました。感染症対策を実施しながら、利用者様がデイサービスに来所され楽しみ、感動し印象に残る時間を提供出来る様に、各専門職と話し合いサービスの提供を行いました。

人材成長・自己実現

- ①内部研修の実施
感染症予防の為、オンライン研修に変更しました。普段内部研修に参加出来ない職員も参加する事が出来ました。
- ②外部研修参加
感染症予防の為、外部講師への参加は中止しました。オンライン研修のみ参加し、参加後は職員へのフィードバックを行いました。

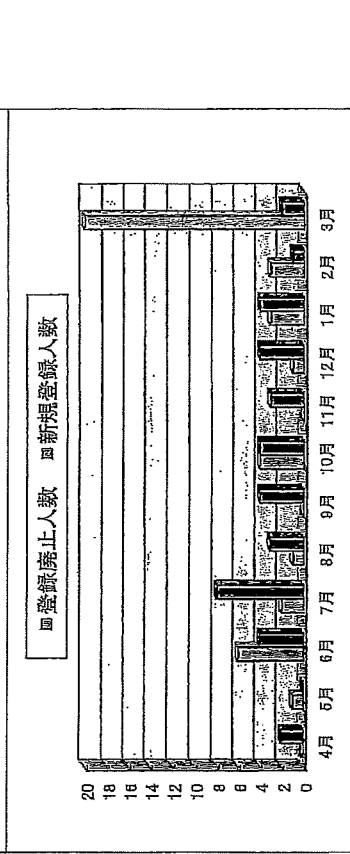
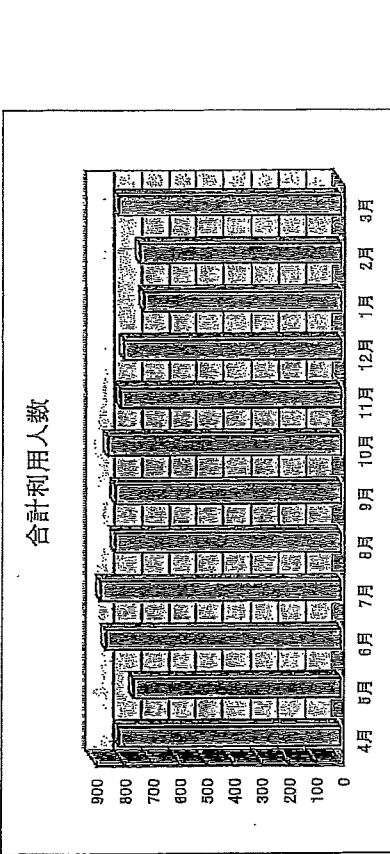
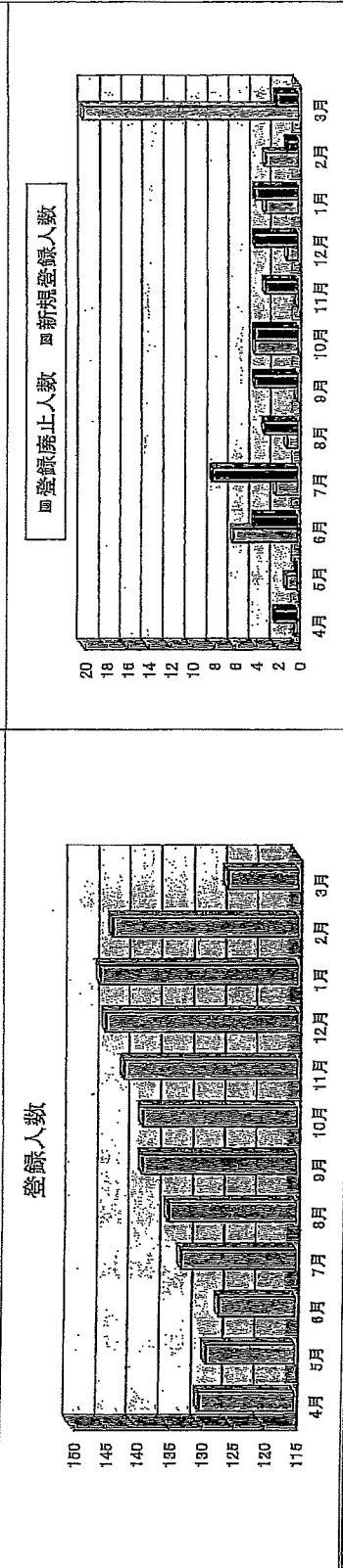
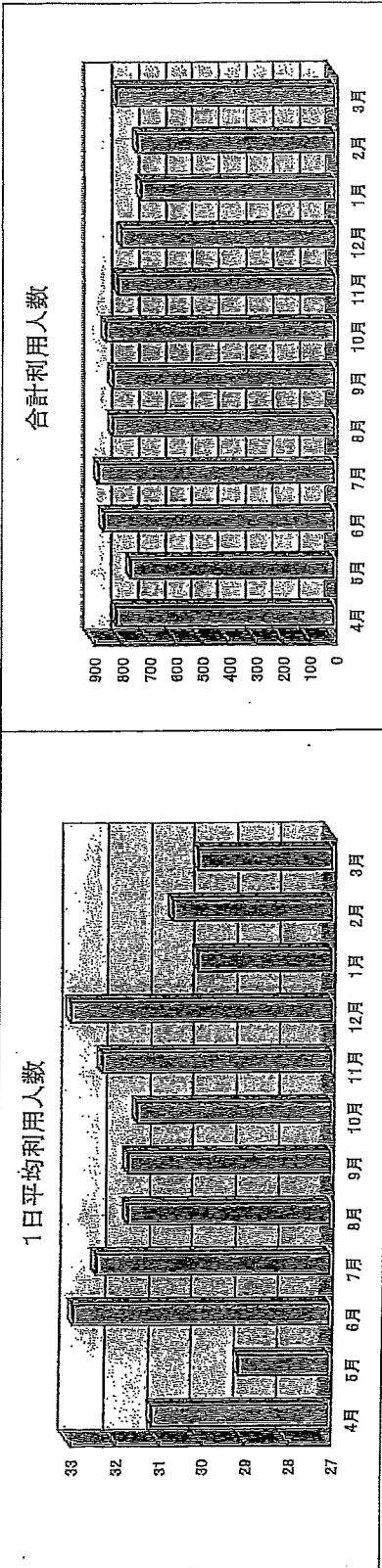
専門性の追求

認知症ケアについて利用者様の状態に合わせ、ひもときシートを活用し職員間でも意識、対応の共有を行う事で利用者様がその人らしく過ごしていただく時間が増え、周辺症状の軽減に繋がりました。認知症対応専用のノート使用する事で、ひもときシート対象者以外の方も情報共有する事出来る環境を作りました。

チーム（委員会）活動報告

- ①楽リハ・・・個別機能訓練の実施・評価。Barthel Index を作成しました。
- ②レク・・・感染症対策の中で楽しんで頂けるようなレクの提供を行いました。
- ③誕生日・・・誕生日プレゼントの準備や誕生日会の日程設定。感染症対策を行いながら誕生日会を実施しました。
- ④脳トレ・塗り絵・・・認知症の予防と進行防止のレク・作業の提案・実施を行いました。ミッケルアート・シナプソロジーを積極的に取り入れました。利用者様が気持ちよく使用出来る様備品の整理を行いました。
- ⑤広報・・・職員紹介コーナーを広報誌に掲載。より多くの方にデイの様子を知っていただける様に、インスタグラムを定期的に更新しました。
- ⑥美化・・・フロア内の美化に努め、清掃・整理を行いました。
- ⑦事故対策・・・ヒヤリハットの集計。多職種で事例検討を行いました。

令和2年度サービス別利用状況（月～土）



	R2.3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度平均
1日平均利用人数	34.4	31.1	29.1	32.9	32.4	31.7	31.7	31.7	32.3	33	30.1	30.7	30.1	31.4	34
合計利用人数	894	809	757	856	874	825	824	850	807	793	723	736	812	805.5	875.8
介護給付	849	783	737	823	843	807	802	833	792	768	697	720	793	783.2	834.5
予防給付・総合事業	45	26	20	33	31	18	22	17	15	25	26	16	19	22.3	41.3
登録人数	128	130	129	127	133	135	139	139	142	145	146	144	126	136.3	138.7
登録廃止人数	20	0	1	6	2	1	0	4	0	1	3	3	20	3.4	2.7
新規登録人数	2	2	0	4	8	3	4	4	3	4	4	1	2	3.3	3.8

※年度末長期休止者除籍

デイサービス利用者状況		男性	女性	合計	
利用者数		56名	70名	126名	
移動	自立	27名	28名	55名	
	杖歩行	11名	10名	21名	
	手引き誘導	6名	3名	9名	
	シルバーカーもしくは歩行器	4名	20名	24名	
	車椅子(自走)	6名	3名	9名	
	車椅子(介助)	2名	6名	8名	
入浴	一般浴	13名	61名	74名	
	機械浴	6名	14名	20名	
排泄	自立	28名	48名	76名	
	トイレ誘導	28名	22名	50名	
	ベッド上交換	1名	4名	5名	
	パッド使用	2名	5名	7名	
	紙パンツ+パッド使用	22名	22名	44名	
	紙おむつ使用	2名	5名	7名	
食事	主	常食	47名	53名	100名
		軟飯	4名	7名	11名
		全粥	4名	8名	12名
		ミキサー	0名	0名	0名
	副	常食	38名	52名	90名
		刻み	8名	7名	15名
		超刻み	1名	1名	2名
		ミキサー	1名	2名	3名
		一口大	7名	6名	13名
		胃ろう	0名	0名	0名

※昼食なし対応3名 ※長期休止者含む

日常生活自立度(自立)		日常生活自立度(認知)	
自立	23名	自立	28名
J1	36名	I	43名
J2	12名	Ia	18名
A1	20名	Ib	19名
A2	8名	IIa	8名
B1	19名	IIb	3名
B2	3名	IV	7名
C1	5名	M	0名
C2	0名		

※職員により判定基準様式を参考に行っていますので主治医の見解と異なる場合があります。計 126名

利用者様状況・概要

「狭山市介護予防・日常生活支援総合事業」と「通所介護」のサービスを提供しました。感染症予防対策に重点を置き、「3密」を避け、利用者様、ご家族の不安軽減を図りながら、自立した日常生活を営むことができるように支援しました。

(別紙参照)

人材育成・自己実現

・今年度の採用は介護職2名、看護師1名、ドライバー1名でした。

・自己都合による退職者は5名でした。

・新人教育では、介護リーダーを中心にマニュアルとチェックリストの活用、個別面談など、細やかな指導を行いました。

・離職率 21.7%

チーム活動

<挨拶・接遇チーム>

・職員朝礼で曜日ごとに「クレドの唱和」「言葉遣い・身だしなみ」「ストレッチ」等実施しました。また、隔月ごとに接遇目標を掲示し、職員の士気向上に努めました。

<レクリエーションチーム>

・脳トレドリルの発行(1回/月)、脳トレプリントの差し替え(1回/週)、感染症予防に対応した個別制作レクを毎月実施しました。

<フロアインテリアチーム>

・季節に合わせた「ちぎり絵」の壁画装飾や作品展に向けた「巻き絵」を利用者様と制作しました。また、各々の作品を展示し温かみのある空間作りを意識しました。

<お誕生日チーム>

・お誕生日会を開き、手作りの花束と写真をお渡ししました。

<体力向上・気分向上チーム>

・感染症拡大で外出機会が減り、体力低下が心配されました。大型スクリーンを活用し体操時間を増やす取組みを行いました。

会議・研修

<デイ会議>

・感染症予防のため、月1回紙面回覧による、チーム進捗報告、利用者様の状況確認、日常業務の情報共有と見直し等を行い他種職間の連携を図りました。

<内部研修>

・オンラインによる研修を実施しました。

・研修内容を「特養・デイサービス・在宅支援」と「事務系」に分け、職種に合わせた内容で行いました。

・研修参加後は、研修受講報告書を記入し、研修の振り返りを行い、知識の習得に努めました。

認知症ケア

・「ひもときシート」を活用し、認知症ケアに必要な「課題の抽出」と「課題解決のための基本的思考」の習得を目指しました。

・大型スクリーンを活用し「ミッケルアート」「昭和の映像」「歌謡ショー」等を写し出し、回想法による認知症ケアを行いました。

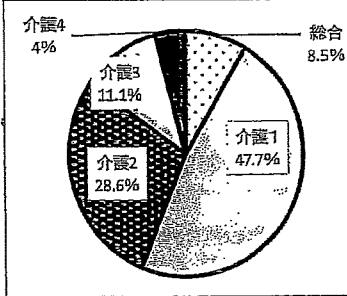
要介護度別 利用状況

令和2年度年間介護度別利用率

令和2年度、日常生活支援総合事業は、コロナ感染症拡大予防のための「緊急事態宣言」の影響を強く受け、利用を控える利用者様が目立ちました。その為、要支援の利用率は3.7%減少しました。

介護給付の介護度別利用率は、要介護3が4.1%増、要介護4が1.5%増となりました。コロナ禍でのサービスとなり、月の延べ人数が600名代に落ち込むこともありましたが、年間の月延べ平均人数は、857名と前年との比較で、15名減に抑えることができました。

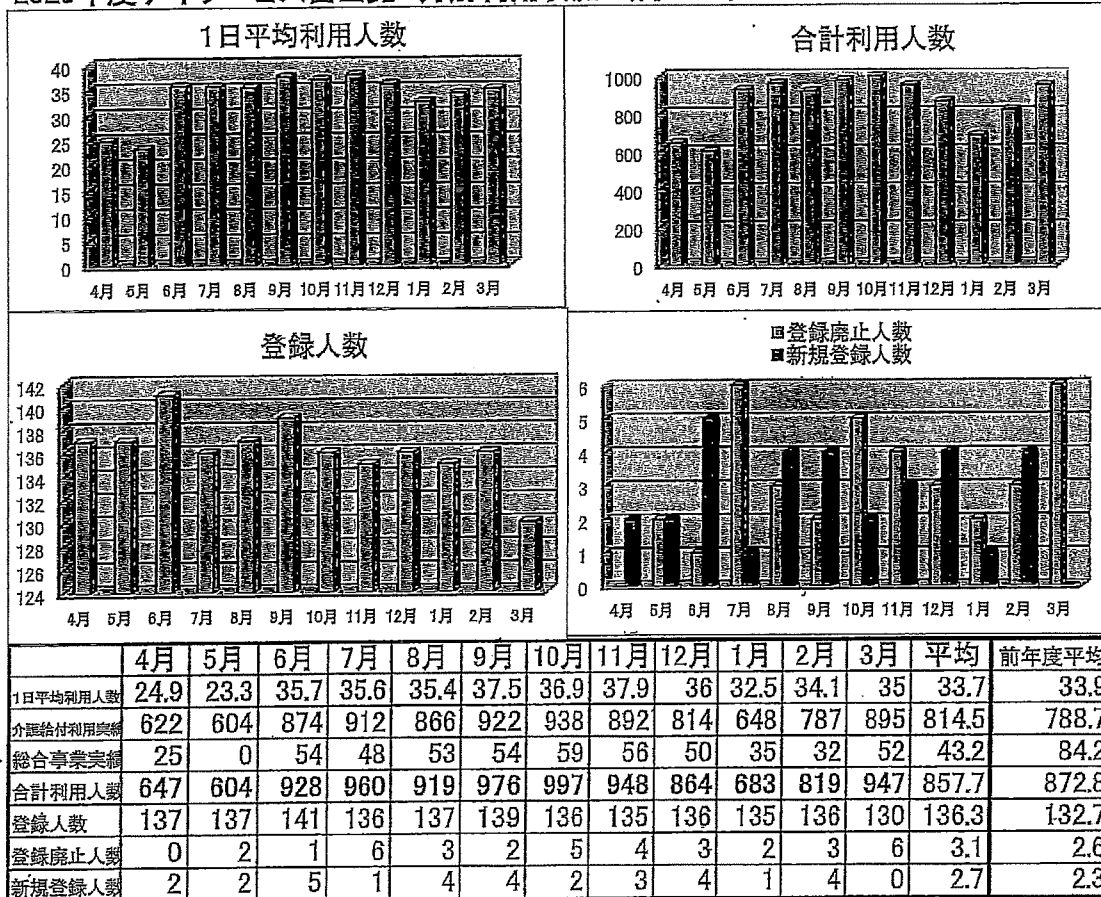
新規登録者数32名、登録廃止者数37名、総登録者数130名
 感染症予防対策を強化しながら、新規利用者様の受け入れを継続しました。「3密」をできる限り回避し、活動メニューを変更することで、不安要素が減り、新規問い合わせは増加しています。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	比率
総合事業	12	0	10	10	11	13	13	14	11	12	7	10	123	8.5
要介護1	56	42	60	61	58	60	59	61	58	59	54	59	687	47.7
要介護2	38	33	39	39	34	35	36	35	35	33	28	27	412	28.6
要介護3	15	9	14	13	12	14	14	14	15	14	12	14	160	11.1
要介護4	3	4	5	5	7	6	5	5	5	4	4	5	58	4
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
請求人数	124	88	128	128	122	128	127	129	124	122	105	115	1440	100(%)

※総合事業内分け 要支援1 5名 要支援2 5名

2020年度デイサービス富士見 月別利用状況 (月～土)



実績件数

- ① 総合事業対象者件数：月平均18.3件
前年度より 37.5%増となった。
- ② 新規要介護件数：年間66件
前年度より 7.04%減となった。
- ③ 要介護担当件数：月平均180.1件
目標である月平均200件は達成
できなかったが、200件を超える月は
7ヶ月達成した。

研修・会議

- ◆外部研修への積極的な参加
 - ・介護支援専門員レベルアップ研修
 - ・その他県や市の各団体が開催している研修
 - ・コロナ禍にて、オンライン研修への参加が多くなった。
(別紙参照)
- ◆内部研修
在宅部門オンライン研修を年12回開催。
オンライン配信を中心に研修を行い、学びを深め、知識向上に努めた。
- ◆会議
 - ・毎週事業所内カンファレンスの実施
 - ・水野日常生活圏域会議
コロナの影響により中止が多く、7月・9月のみ開催。それぞれ参加。
 - ・自立支援型地域ケア会議の為の合同会議に出席(12月、3月)

実施状況

- ・法人理念である「関わる全ての人を幸福にすること」を念頭に、利用者様が生きがいをもって在宅での生活を送っていただけるよう支援した。
- ・新規要介護件数の増加が多く、年間66件にのぼった。
- ・例年実施しているわかばカフェ、ふれあいの会は新型コロナウイルス感染症の影響で実施を見送った。引き続き感染状況を見ながら実施を検討する。

地域交流

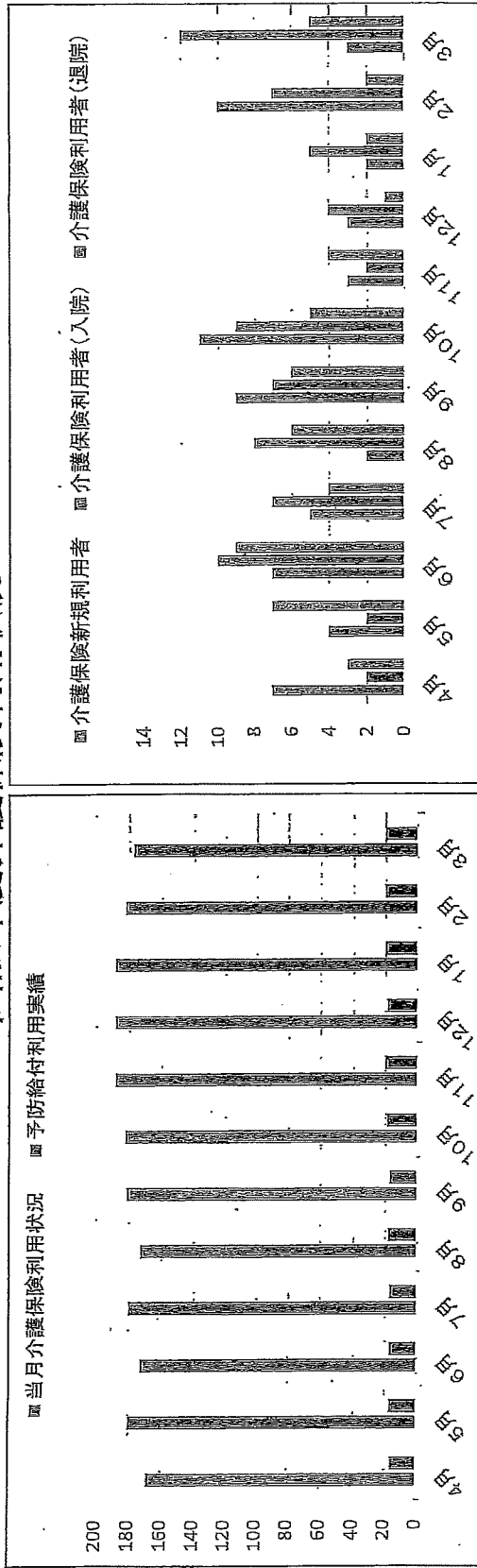
- ◆ふれあいの会
 - ・例年6月、11月に開催していたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施出来なかった。
- ◆わかばカフェ
 - ・ふれあいの会同様、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催は出来なかった。

その他

- ◆社会福祉士会援助技術実習受け入れ
(西武文理大学3年生1名受け入れ)
実習期間：令和2年8月17日～
令和2年9月17日

感染症対策をしながらの受け入れを実施した。研修後の反省会では、実習生本人から、自分自身の考え方や気づきが多い実習になった、自己覚知の機会の貴重な機会をいただいたと感謝の声があった。

令和2年度介護保険利用状況



介護保険実績	前年度平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
前々月以前未請求分	0.9	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0.4
前月未請求分	2.3	1	3	1	4	1	4	2	3	4	1	2	0	26	2.2
当月介護保険利用状況	154	169	180	173	180	173	181	182	188	188	188	182	177	2161	180.1
予防給付利用実績	13.3	16	17	17	17	18	17	19	20	19	20	20	20	220	18.3
合計	170.6	187	203	192	201	192	198	203	211	211	209	204	197	2408	200.7
介護保険新規利用者	5.9	7	4	7	5	2	9	11	3	3	2	10	3	66	5.5
介護保険利用者(入院)	6.8	2	2	10	7	8	7	9	2	4	5	7	12	75	6.3
介護保険利用者(退院)	5.1	3	7	9	4	6	6	5	4	1	2	2	5	54	4.5
介護保険廃止利用者	3	7	6	4	6	1	3	0	4	3	3	8	5	50	4.2

5事業所利用実績(%)	前年度平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
むさしの園デイサービス	37.3	36.6	34.2	35.0	34.9	34.2	35.5	36.4	36.3	35.8	34.7	36	33	35.2	35.2
むさしの園デイサービス富士見	26.5	22.7	22.2	26.4	22.7	22.8	23.1	24.5	23.9	23.3	21.7	19.8	18.2	22.9	22.9
むさしの園ヘルパーステーション	36.3	35.7	30.2	28.8	28.8	30.0	32.5	38.6	35.4	36.1	40.4	34.8	34.8	33.8	33.8

活動状況

コロナ禍の中、一人一人が感染予防対策をしっかりと行い、ヘルパーも利用者様も誰一人罹患することなく訪問ができました。

利用者様一人ひとりと向き合い、笑顔になっていただけるようなサービスの提供と、信頼関係を築けるよう努めました。

自己成長

コロナ禍でもあり、今までのような研修会はなかなか行うことは難しい状況ではありましたが、集まっての研修が難しい場合は書面会議を行い、情報共有を行いました。

問題点などは資料等を活用し、どうすれば改善できるかを全員で考えながら対処しました。

サービス状況 ※ () 内は前年度合計

[要介護度別利用人数 (年間利用)]

要介護1 262人 (267人)
要介護2 95人 (72人)
要介護3 34人 (4人)
要介護4 3人 (4人)
要介護5 9人 (6人)
年間利用合計 403人 (353人)

[狹山市介護予防・日常生活支援総合事業]

訪問型サービスA

要支援1 83人 (63人)
要支援2 99人 (99人)
介護予防訪問介護相当サービス
要支援1 13人 (7人)
要支援2 20人 (21人)

サービス状況 ※ () 内は前年度合計

[派遣サービス別延べ件数]

身体介護 1316人 (1037人)
身体生活 850人 (462人)
生活援助 915人 (1019人)

[月間登録者数] <目標 60人>

平均 52.3人 (47.5人)

[月間利用者数] <目標 50人>

平均 50.7人 (44.5人)

活動報告

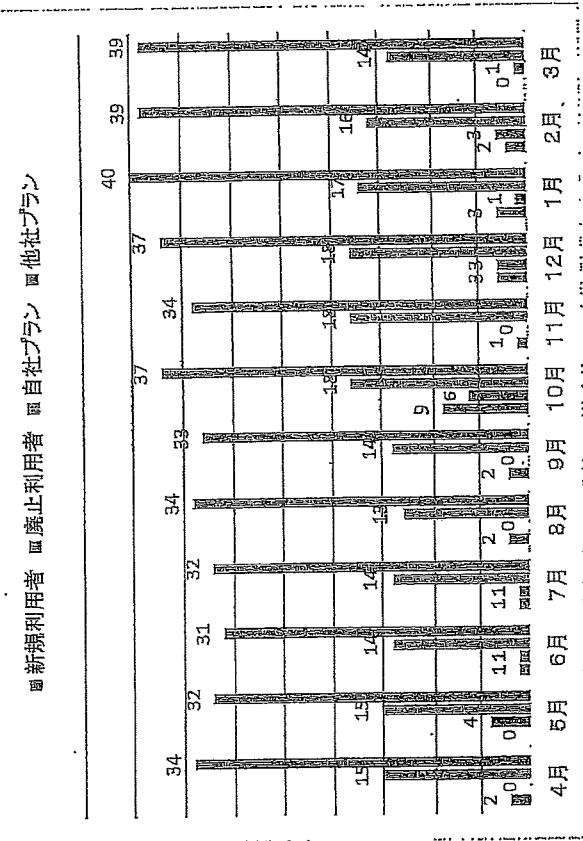
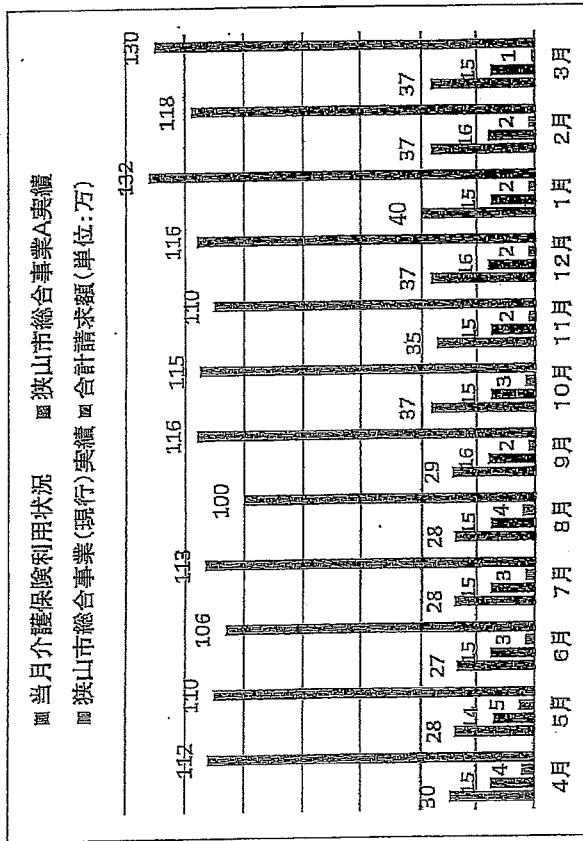
月間登録者数は目標に少し欠ける数字となってしまいましたが、月間利用者数は目標達成となりました。
年間利用合計人数も大幅に上回り、月平均の請求額も123%アップとなりました。

ヘルパー会議・研修報告

(18:00~19:00) 開催

月	内 容	月 日
4月	ケアカンファレンス (書面会議) 介護保険制度	4/24
5月	ケアカンファレンス 熱中症について	5/29
6月	ケアカンファレンス 観察力で必要なこと	6/19
7月	ケアカンファレンス 夏野菜を使った簡単レシピ (レシピ配布)	7/17
8月	ケアカンファレンス リスクマネジメント	8/21
9月	ケアカンファレンス 認知症について	9/18
10月	ケアカンファレンス 記憶の必要性について	10/23
11月	ケアカンファレンス (書面会議) 訪問時の注意点	11/27
12月	ケアカンファレンス (書面会議) 感染症 (ノロウイルス) (インフルエンザ) (コロナウイルス)	12/18
1月	ケアカンファレンス (書面会議) 高齢者虐待について	1/22
2月	ケアカンファレンス (書面会議) ヘルパー訪問時の注意点	2/26
3月	ケアカンファレンス (書面会議) 1年の振り返り	3/26

R2年度 訪問介護利用者数推移一覽表



	前年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
介護保険実績	1.2	3	2	0	1	0	1	1	1	3	3	0	0	15	1.3
前月までの未請求分															
当月介護保険利用状況	28.8	30	28	27	28	28	29	37	35	37	40	37	37	393	32.8
狭山市総合事業A実績	13.4	15	14	15	15	15	16	15	15	16	15	16	15	182	15.2
狭山市総合事業(現行)実績	2.3	4	5	3	3	4	2	3	2	2	2	2	1	33	2.8
合計請求額(単位:万)	93.5	112	110	106	113	100	116	115	110	116	132	118	130	1378	114.8
新規利用者	1.8	2	0	1	1	2	2	9	1	3	3	2	0	26	2.2
廃止利用者	1.7	0	4	1	1	0	0	6	0	3	1	3	1	20	1.7
自社プラン	12.2	15	15	14	14	13	14	18	18	18	17	16	14	186	15.5
他社プラン	32.5	34	32	31	32	34	33	37	34	37	40	39	39	422	35.2
登録者数	47.5	51	52	47	46	48	50	54	55	55	58	56	55	627	52.3

部署目標 (令和2年度)	【1】採用強化：問合せ200件 面接75件	達成
	採用 介護 35名 (内新卒5名) 保育 5名 (内新卒2名)	未達 達成
	【2】人材定着支援：離職 前年度対比 -6名 (離職率3%減) 新卒フォローアップの実施	未達 達成

結果	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月			合計
学校訪問	0	0	4	13	6	3	3	3	2	0	0	0	34
合同説明会	0	0	0	0	2	2	2	4	3	2	0	2	17
採用数	介護 31名 (内新卒5名) 保育 11名 (内新卒4名 ※栄養士1・補助1含む)												
離職状況	離職者 介護：31名 (前年比-14) 保育：12名 (前年比+6) 計43名 (前年比-8)												
	離職率 16.3% (前年比-2.7%)												
	※介護：14.6% (前年比-6.4%) 保育：26.7% (前年比+14.2%)												

【採用目標】

1. 学校訪問：前半4月～緊急事態宣言による訪問不可、その後訪問の可否が学校の対応により別れ、可能な学校へ訪問しつつ、できない学校へは電話やDMによる対応とする。
2. 合同説明会参加：ハローワーク、社協、キャリアス、ユメックス、学校等の説明会に17回参加。中途・新卒ともに見学・面接に繋げ採用に繋がったケースあり。
3. 法人ホームページ：ホームページからの採用はリスティング広告の反響もあり増加。
2020年度のホームページ応募者の入職率は中途：34.2%、新卒：22.2%
今後も光洋通信と連携して、ホームページの精査・活用による採用を継続。
4. 採用活動管理：学校訪問、説明会参加など行動を予実管理し効果が高いものを分析する。
採用活動費：採用にかかる費用を集計して予算管理をする。予算は6,000,000円。
→ 令和2年度 予算：6,000,000円 実績：5,909,468円
離職の増加により上半期に有料媒体を活用しましたが、紹介会社を利用せず予算内に収まり採用目標を達成しています。

【定着支援目標】

1. 新卒フォローアップ：1・3・6・12か月で面談を実施。令和2年度8名、令和3年度9名。
2. サイボウズにおけるワークフローを活用し、面談シートの閲覧をスムーズに行うことで問題の共有化を図ることが可能となる。

今年度の活動

担当相談員の増員

・相談開始から3か月以内に支援は
終結しています。
・年間相談件数 2件
・相談元：
トータルサポート推進課1件
フードバンク狭山 1件
総支援額：137,574円

・生活困窮支援の相談員は3名体
制で運営しております。

支援方法について

本年度は2件で、1件は狭山市役所が主導で動いている事案であり支援の方向性がすべて決まっている状態での支援でした。
もう1件は地域の市民団体からの支援要請で、法人が主体となって支援を実施しました。かわり方が全く異なりましたが、本人の意思を尊重して対応できたと思います。

研修、会議参加・地域福祉活動

【研修・会議】

新型コロナウイルスのため、研修は参加いたしませんでした。
定例会議の実施も中止しました。

令和2年度の目標	<p>【1】入園児を7月までに14名（稼働率74%）を達成する。</p> <p>【2】保育の質の向上：マニュアルの読み合わせと再編成を行う。</p> <p>【3】離職防止：常勤・非常勤に対する面談の実施</p>
----------	---

令和2年度の入園児実績

	クラス	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
定期的	0歳児	1	1	1	1	1	2	3	4	4	5	5	6
	1歳児	3	2	2	3	3	3	3	3	4	4	4	4
	2歳児	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3
	3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	7	6	7	8	8	9	10	11	12	13	12	13
稼働率	37%	32%	37%	42%	42%	47%	53%	58%	63%	68%	63%	68%	
一時預かり 利用可能数	12	13	12	11	11	10	9	8	7	6	7	6	

活動報告

【入園児目標】

当初目標は達成できなかった。

年度の前半は新型コロナウイルスの影響で新入園児の応募が少なかった。

コロナ感染が落ち着いてきた7月より、営業活動を再開。近隣市役所だけでなく、ファミサポ、子育てプレイスなどにも赴いた。目標人数は達成できなかったが、過去最高の0歳児の受け入れができた。

年度の後半は、4月入園児を確実に獲得するため第一次応募期間と第二次応募期間を設定し期間中に申し込みがあった方には優先的に入園確定を行ったことで、2月から新入園児の応募を多数いただけるようになった。

【保育の質の向上】

運営実態に即したマニュアルの見直しを行った。

食物アレルギー、感染症対策、苦情解決、虐待防止、緊急時対応で見直しを実施。

また、パワーハラスメント、セクシャルハラスメント、マタニティーハラスメント研修や個人情報の取り扱いについても研修を行った。

企業主導型で受講必須の研修である施設長研修と安全研修は受講完了。

本年度から受給している処遇改善加算Ⅱの取得要件である副主任と職能別リーダーのキャリアパス研修も1教科ずつ受講ができた。

【離職防止目標】

常勤同士で方向性を合わせるため、常勤会議を毎月開き情報共有を行った。

事務員の退職があったが、スムーズに次の事務員の採用ができた。

非常勤の面談は年に1～2回実施できた。

本年で2名退職者が出たが、理由は正当なものであるため問題ないとする。

部署目標	<ul style="list-style-type: none"> 園全体の稼働を年間 平均93% (弾力運営含む) 一時預かり事業を年間利用者 延べ900名を目標とする
実績	<ul style="list-style-type: none"> コロナの影響もあり、新規入園が伸びず稼働は90%となった。 一時預かり事業は、コロナの影響もあったが、延べ900名は達成

運営目標	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月			平均
通常保育稼働	85%	90%	90%	92%	92%	92%	95%	95%	95%	95%	95%	95%	93%
	89%	86%	86%	85%	87%	91%	92%	94%	93%	92%	92%	92%	90%
一時預かり事業	60	60	60	80	80	80	100	100	100	100	100	100	1020
	35	0	46	94	82	103	137	100	107	75	105	123	1007
年間計画													
外部授業の導入	全面中止												
季節行事	親子遠足 (中止)			敬老会 (配信)			運動会、クリスマス会			お正月、卒園式			
研修	全面中止	虐待防止		熱中症予防			感染症予防			履修研修			

実績

【保育目標実績】

- 新型コロナウイルスの影響により、期初から登園自粛、臨時休園などがあり、新規入園者が減少市の申し込み自体が前年対比で200件以上減ったとのこと
- 一時預かり事業も同様に影響を受け上期の利用は大幅に減少。陽性者が出た1月も減少したが、年間での補助金要件は達成。

【行動目標実績】

- 外部授業 (英語、体操等) の導入を検討、月1回正課での導入と保護者のニーズによって
⇒課外授業を導入を目指していたが、令和3年度に見送り。
- キャリアパス研修をリーダー職以上全員受講を目標とする。
⇒キャリアパス研修もほぼ中止となった為、翌年度に繰り越し予定
- 新人職員の研修機会を増やし年間での計画的な研修を組む
⇒オンライン研修に一部変更し、実施
- 共育を実践するにあたり、保護者の参加できる行事の開催
保護者参加の行事・研修はすべて中止。翌年度以降に繰り越し

